

国立大学法人  
上越教育大学 学校教育学部  
学生募集要項 2020

令和2年度入試(昨年度実施)のものを掲載しています。  
令和3年度入試(今年度実施)のものは、11月上旬に公表予定です。

インターネット出願のため、この学生募集要項に  
出願書類は添付されていません。

平成30年度入学者選抜試験（平成29年度実施）から、出願方法を「インターネット出願」に全面移行しました。出願期間内に、「Web出願登録」・「検定料納入」・「出願書類の提出」を完了してください。

※欠員補充第2次募集は、紙の願書での出願となります。

### 入試関係日程一覧

入試方法	インターネット出願登録期間 及び検定料支払期間	出願期間 (出願書類提出期間)	試験日	合格者の発表
推薦入試	令和元年12月6日(金)10時 ～ 12月13日(金)15時まで	令和元年12月6日(金) ～ 12月13日(金) <u>17時必着</u>	令和2年1月31日(金)	令和2年2月12日(水)
一般入試 (前期日程)	令和2年1月27日(月)10時 ～ 2月5日(水)15時まで	令和2年1月27日(月) ～ 2月5日(水) <u>17時必着</u>	令和2年2月25日(火) ～ 2月26日(水)	令和2年3月10日(火)
一般入試 (後期日程)			令和2年3月12日(木)	令和2年3月23日(月)

不測の事態等により試験時間等を変更する場合は、上越教育大学携帯サイトにて周知します。出願前や受験直前は特にご注意願います。

URL <https://daigakujc.jp/juen/>

[QRコード]



# 目 次

	ページ
I 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー) .....	3
1 教育の理念・目的 .....	3
2 学校教育学部目標 .....	3
3 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー) .....	3
II 募集人員・入学者選抜方法等 .....	4
1 募集人員 .....	4
2 入学者選抜方法 .....	4
3 出願資格 .....	4
4 令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目 .....	5
III 出願に当たっての留意事項 .....	8
IV 出願手続 .....	9
V 受験上又は修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談 .....	13
VI 一般入試 .....	14
前期日程 .....	14
募集人員 .....	14
入試方法 .....	14
試験の日程 .....	14
試験場 .....	15
試験の実施方法 .....	15
配点等 .....	16
合格者の発表 .....	16
入学手続 .....	16
その他 .....	17
後期日程 .....	18
募集人員 .....	18
入試方法 .....	18
試験の日程 .....	18
試験場 .....	18
配点等 .....	18
合格者の発表 .....	19
入学手続 .....	19
その他 .....	20
追加合格 .....	21
追加合格者への通知等 .....	21
入学手続 .....	21

<b>VII</b>	<b>推薦入試</b> .....	23
	募集人員 .....	23
	推薦要件 .....	23
	入試方法 .....	23
	試験の日程 .....	23
	試験場 .....	23
	配点等 .....	24
	合格者の発表 .....	24
	入学手続 .....	24
	入学辞退手続 .....	25
	その他 .....	25
<b>VIII</b>	<b>欠員補充第2次募集</b> .....	26
<b>IX</b>	<b>その他</b> .....	28
	大規模災害で被災した志願者への検定料等免除 .....	28
	入試の個人成績等の開示 .....	29
	出願状況等の提供 .....	30
	入学者に対する麻疹（はしか）等の防止措置 .....	30
	教育実習等に係る費用負担 .....	30
	ノート型パーソナルコンピュータの所持 .....	31
	キャンパス内全面禁煙 .....	31
	本学に関する問い合わせ .....	31
	<b>&lt;参考&gt;</b>	
	コース・領域の紹介 .....	32
	<b>&lt;附録&gt;</b>	
	平成31年度入試合格者成績情報 .....	33
	平成31年度入学試験状況 .....	33
	平成31年度上越教育大学入学者選抜試験 試験問題 .....	35
	<b>本学へのアクセス</b> .....	裏表紙

# I 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

上越教育大学では、「上越教育大学学校教育学部における卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施及び入学者受入れの方針」を策定し、公表しています。

以下に、教育の理念・目的、学校教育学部の目標、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を示します。

## 1 教育の理念・目的

上越教育大学（以下「本学」という。）は、本学大学憲章に基づき、子供の未来を切り開くことのできる確かな実践力を備え、我が国の教育を担う中核的・指導的な教員の養成を目指している。

教員という職業は、豊かな人間性に支えられた専門職である。その専門性には、子供たちの学習と生活を支援でき、そして人類の築き上げた文化を全体として理解・把握する、つまり様々な学問分野の考え方を整理・統合し、人間の文化的営みを理解できる総合的な資質・能力が求められている。

そのため、本学では、「21世紀を生き抜くための能力（基礎力・思考力・実践力）」を身につけ、「人間力（優れた人格・豊かな感性・未来創造力）」を備え、さらに「教育実践力（豊かな教養・高度な専門的知識・優れた教育技術・使命感・創造力・人間愛）」及び「学び続ける力」を有する教員を養成する。

## 2 学校教育学部の目標

主として初等教育教員の養成に関する社会的要請に応えるべく、深い人間理解と豊かな学識及び優れた教育技術を備えた教員を養成する。

そのため、教員としての使命感や責任感を育むとともに、社会性や対人関係の力、子供を理解し学級を運営する力、人文科学・社会科学・自然科学・芸術・スポーツについてのバランスのとれた専門的能力とその指導力など、教員に必要な基本的資質と実践的な能力を養成する。

## 3 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 本学では、以下に掲げる学生を求めている。

ア 教員を目指すために十分な幅広い基礎学力を修得している。【基礎力】

イ 物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。【思考力】

ウ 生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、課題を解決していくことができる。【実践力】

エ 教員を目指す強い意志を持ち、積極的に学修を進めていくことができる。【学び続ける力】

オ 自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。【人間力】

(2) 以上の受入れの方針に基づいて、本学では、一般入試（前期日程）、一般入試（後期日程）、推薦入試の三つの方法で選抜を行う。

ア 基礎力を評価するため、三つの選抜方法とも大学入試センター試験を課す。

イ 一般入試（前期日程）では、実技教科への基礎的適性を含むバランスのとれた基礎力を有し、思考力と実践力を備えた学生を選抜する。基礎力を評価するため、上記アに加え、実技検査（音楽・美術・体育のうちから選択）を課す。また、思考力・実践力を評価するため、小論文と集団面接試験を課す。

ウ 一般入試（後期日程）では、上記アに加え、特に学び続ける力と人間力に優れた学生を選抜するため、主に教職への強い関心・意欲と人間性を高めようとする意志に関して質問する個別面接試験を課す。

エ 推薦入試では、上記アに加え、特に実践力と人間力に優れた学生を選抜するため、高等学校等の段階での経験・活動実績を踏まえて総合的に質問する個別面接試験を課す。

※卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）は、本学ホームページ（<https://www.juen.ac.jp/050about/010info/policy/H31faculty.html>）をご覧ください。

## Ⅱ 募集人員・入学者選抜方法等

### 1 募集人員

学 部	課 程	入学定員	募 集 人 員		備 考
学校教育学部	初等教育教員 養成課程	160人	前期日程	77人	
			後期日程	33人	
			推薦入試	50人	

(注) 2年次から、本人の希望と1年次の成績に基づいて、次のいずれかのコースに所属することになります。

詳細については、32ページ「コース・領域の紹介」をご覧ください。

- ・ 学校教育専修  
学校教育実践コース，先端教科・領域学習コース，現代教育課題コース，  
幼年教育コース，心理臨床コース，教科内容構成コース

### 2 入学者選抜方法

入学者の選抜は、次の方法により行います。

- ・ 一般入試（前期日程，後期日程）
- ・ 推薦入試

### 3 出願資格

#### (1) 一般入試

次のいずれかに該当し、かつ、令和2年度大学入試センター試験（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））を受験した者です。

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和2年3月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和2年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和2年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和2年3月修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの又は令和2年3月31日までに18歳に達するもの  
【上記出願資格⑧により出願する場合の手続きは、7ページのとおりとします。】

(2) 推薦入試

次のいずれかに該当し、かつ、令和2年度大学入試センター試験（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））を受験する者です。

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項及び第103条第1項等の規定に基づき、平成31年度（令和元年度）の学年の途中において高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は卒業見込みの者を含む。）
- ② 高等専門学校第3学年を平成30年4月から平成31年3月までに修了した者又は令和2年3月修了見込みの者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了した者又は令和2年3月31日までに修了見込みの者

## 4 令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

一般入試及び推薦入試に出願する者並びに令和2年4月1日以降の欠員補充第2次募集（入学定員に欠員が生じた場合に実施）に出願する者は、次に掲げる令和2年度大学入試センター試験の5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目）の受験を要します。

教科	科目及び科目選択方法		
国語	『国語』		
地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」,	} から1 又は2科目 (注1)	} 理科で a又はcを 選択する場 合は4科目
公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 『倫理, 政治・経済』		
理科	a: 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2科目 b: 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目 c: 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2科目 並びに「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目 d: 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目	} a～dの いずれか 一つ	} b又はdを 選択する場 合は3科目 (注2)(注3)(注4)
数学	「数学I」, 『数学I・数学A』から1科目 「数学II」, 『数学II・数学B」, 『簿記・会計」, 『情報関係基礎』から1科目	} の計2科目	
外国語	『英語』(注5), 『ドイツ語」, 『フランス語」, 『中国語」, 『韓国語』から1科目		

(注1) 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

(注2) 「理科」でa又はbを選択する場合は、「地理歴史、公民」から2科目を選択してください。また、c又はdを選択する場合は、「地理歴史、公民」から1科目を選択してください。

(注3) 「地理歴史、公民」で1科目を選択し、「理科」でcを選択する場合は、理科において同一名称を付した出題科目（「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」）の組合せを選択することはできません。ただし、「地理歴史、公民」で2科目を選択し、「理科」でcを選択する場合は、この限りではありません。この場合における本学の成績利用方法は、(注4) 2. のとおりです。

(注4) [地理歴史，公民から2科目]，[理科からc又はdにより3科目又は2科目]を受験した場合は，理科の科目選択方法に応じて，次の3科目（理科の基礎を付した科目（2科目の合計）を用いる場合は4科目）の成績を用います。

1. 理科cの科目選択方法で，「物理基礎，化学基礎」と「生物」など，異なる名称を付した出題科目を受験した場合。

ア [地理歴史，公民の第1解答科目]

イ [地理歴史，公民の第2解答科目]，[理科の基礎を付した科目]，[理科の基礎を付していない科目]のうち高得点の2科目（理科の基礎を付した科目を用いる場合は3科目）

2. 理科cの科目選択方法で，「物理基礎」と「物理」など，同一名称を付した出題科目を受験した場合。

ア [地理歴史，公民の第1解答科目]

イ [地理歴史，公民の第2解答科目]

ウ [理科の基礎を付した科目]又は[理科の基礎を付していない科目]のどちらか高得点の科目

3. 理科dの科目選択方法で受験した場合。

ア [地理歴史，公民の第1解答科目]

イ [理科dで受験した科目の第1解答科目]

ウ [地理歴史，公民の第2解答科目]又は[理科dで受験した科目の第2解答科目]のどちらか高得点の科目

(注5) 外国語の英語については，「筆記」及び「リスニング」を課します。なお，大学入試センターにおいて英語リスニングを免除された者については，「筆記」のみを課します。

## 上越教育大学学校教育学部入学資格審査について

5 ページの「3 出願資格 (1)一般入試 ⑧」における個別の入学資格審査は、出願の前に、入学資格認定のための審査を行うものです。  
なお、申請手続きは次のとおりですが、申請には本学所定の用紙等が必要ですので、該当者は事前に本学入試課へ連絡してください。

### 1 入学資格審査の対象者

本学の学校教育学部入学のために一般入試の受験を希望し、令和2年3月31日までに18歳に達する者で次のいずれかに該当するものです。

- ① 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は卒業見込みの者
- ② 上記①以外の者で、学習歴及び社会での実務経験歴や取得した資格等が高等学校を卒業した者と同等以上であることを客観的に確認できる者

### 2 申請受付期間

令和2年1月9日(木)～令和2年1月10日(金)【必着】

申請書類を直接本学へ持参する場合の受付時間は、9時から17時までです。申請書類を郵送する場合は、必ず書留速達とし封筒表面に「大学入学資格認定証書交付申請」と朱書してください。なお、受付期限後に到着したものは受理しませんので、郵送日数等を十分に考慮して早めに送付してください。

(申請先)

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地  
上越教育大学入試課 電話 025-521-3294

### 3 申請書類

次の書類を揃えて申請してください。

- (1) 「1 入学資格審査の対象者」の①に該当する者

- ① 入学資格認定申請書(本学所定の様式)
- ② 履歴書(本学所定の様式)
- ③ 当該学校の教育が12年の課程であることを証明できるもの
- ④ 当該学校の教育内容等を証明できるもの
- ⑤ 当該学校の卒業証明書又は卒業見込証明書
- ⑥ その他本学が必要と認める書類

- (2) 「1 入学資格審査の対象者」の②に該当する者

- ① 入学資格認定申請書(本学所定の様式)
- ② 履歴書(本学所定の様式)
- ③ 各種の学校などでの学習歴及び社会での実務経験歴や取得した資格等が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類(学習歴や実務歴が複数にわたる場合は、そのすべてについて提出してください。)
- ④ その他本学が必要と認める書類

### 4 入学資格審査の方法

審査は、提出された書類に基づき行います。

「1 入学資格審査の対象者」の①に該当する者については、文部科学大臣が定めた「大学入学資格に係る専修学校高等課程の指定に関する実施要項」の要件を準用し審査します。

「1 入学資格審査の対象者」の②に該当する者については、個人の学習歴、あるいは社会における実務経験歴や取得した資格等に基づき総合的に審査します。

### 5 入学資格審査の結果通知

令和2年1月24日(金)までに申請者宛に郵送により通知します。また、入学資格を認められた者については、「入学資格認定証書」を交付します。

### 6 上越教育大学入学者選抜試験の受験

「入学資格認定証書」の交付を受けた者は、本学の一般入試を受験することができます。  
出願の際は、必ず「入学資格認定証書」の写しを出願書類として提出してください。

### 7 留意事項

この入学資格審査は、本学の判断により実施するものであるため、認定の効力は本学のみです。

### Ⅲ 出願に当たっての留意事項

- 1 本学では、平成30年度入学者選抜試験から、出願方法を「インターネット出願」に全面移行しました。  
これまでの「紙の願書による出願」は行っておりません。(ただし、欠員補充第2次募集は、紙の願書(本学ホームページから様式をダウンロード)での出願となります。)
- 2 出願書類に不備がある場合には、受理しないことがありますので十分注意してください。
- 3 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- 4 **本学の前期日程に出願した者は、他の大学・学部の前期日程には出願できません。**  
**本学の後期日程に出願した者は、他の大学・学部の後期日程には出願できません。**  
なお、**本学の前期日程と後期日程との併願は、可能です。**
- 5 国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)の推薦入試(大学入試センター試験を課す場合、課さない場合とも)については、1つの大学・学部にも出願することができます。  
**本学の推薦入試に出願した者は、他の国公立大学・学部の推薦入試には出願できません。**  
※公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/nyushi>)参照
- 6 **国公立大学・学部の推薦入試に出願する者は、前期日程から1つ、後期日程から1つの、合計2つまでの大学・学部にも出願することができます。**ただし、国公立大学・学部の推薦入試合格者又はAO入試合格者は、出願済みの国公立大学・学部の前期日程試験又は後期日程試験を受験しても入学許可は得られません。(当該推薦入試又はAO入試を実施する大学・学部の定める推薦入試又はAO入試の入学辞退手続により入学辞退を許可された場合を除く。)
- 7 本学又は他の国公立大学・学部の前期日程試験に合格し、令和2年3月15日(日)までに入学手続を行った者は、本学の後期日程試験を受験してもその合格者となることはありません。
- 8 受験に関する詳細については、出願書類を提出した者に対して本学の受験票とともに送付する「受験者心得」を参照してください。  
なお、本学の受験票及び大学入試センター試験の受験票は、試験当日のほか、入学手続の際にも必要ですので、紛失しないように注意してください。
- 9 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、合否及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- 10 本学が入試を通じて取得した試験成績等の個人情報は、入試のほか、入学後の授業実施計画、学籍管理、入学料等免除の選考、奨学金貸与・給付の選考及び各種統計資料の作成・分析に使用し、これ以外の目的に用いることはありません。  
また、個人を特定しない形で統計的な調査に使用することがあります。
- 11 出願書類及び試験成績等の情報のコンピュータ入力については、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

## IV 出願手続

### 1 出願方法

本学では、入学志願者がインターネットを利用して、専用のサイトから志願者情報を入力して出願できる「**インターネット出願**」に全面移行しました。(平成30年度入学志願者選抜試験から)

これまでの「紙の願書による出願」(募集要項に添付の入学志願票等に記入したものを郵送する方法)は行っておりません。(ただし、欠員補充第2次募集は、紙の願書(本学ホームページから様式をダウンロード)での出願となります。)

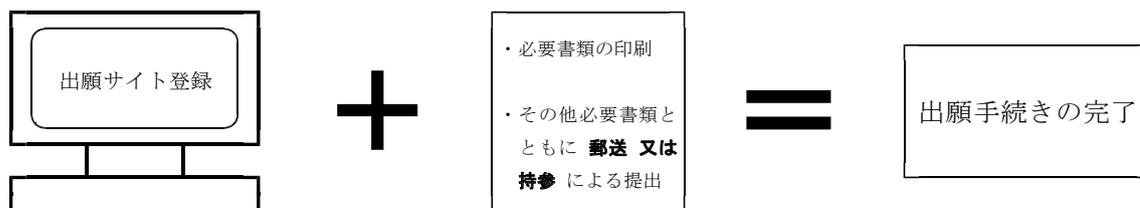
インターネット出願では、学生募集要項(冊子体)の取り寄せが不要(Webで公開しています)となり、Web入力に際してエラーチェック機能により願書の記入誤りが防げます。また、検定料の支払方法としてコンビニエンスストアやクレジットカード等の利用が可能です。

ご利用にあたってはメールアドレス・パソコン(インターネット接続済)・プリンター(A4出力)が必要です。

インターネット出願において、必要事項の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了ではありません。出願に必要な書類を郵送する必要があります。出願書類の提出期限をよく確認し、郵送に要する日数を考慮したうえで期限に間に合うよう手続きしてください。

なお、事情によりインターネット出願を利用することができない方は、出願登録期間前に、本学入試課へご連絡ください。

#### 【インターネット出願の流れ】



出願前に募集要項を確認し、必要書類の事前準備をお願いします。

- ・センター試験成績請求票
- ・調査書
- ・顔写真データ(ファイル形式(jpeg, jpg, png, bmp))
- ・推薦書(推薦入試のみ)
- ・自己推薦書(推薦入試のみ)

#### 1 インターネット出願サイトへアクセス

本学入試情報ホームページ

→ <https://www.juen.ac.jp/060admissions/020faculty/index.html> または、

インターネット出願サイト

→ [e-apply.jp/e/juen/index.html](http://e-apply.jp/e/juen/index.html) からアクセス

※ 「インターネット出願登録期間」以外は出願登録はできません。

#### 2 出願期間の確認

	インターネット出願登録期間 及び検定料支払期間	→	出願書類提出期限
推薦入試	令和元年12月6日(金)10時～ 令和元年12月13日(金)15時まで		令和元年12月13日(金)17時必着
一般入試 (前期日程) (後期日程)	令和2年1月27日(月)10時～ 令和2年2月5日(水)15時まで		令和2年2月5日(水)17時必着

(注) 出願書類の提出にあたっては、「6 出願書類の提出」を確認してください。

### 3 必要事項の登録

- ① 画面の手順や留意事項を必ず確認してください。
- ② 画面に従って出願内容の選択, 必要事項を入力してください。
- ③ 検定料の支払い方法を選択してください。
- ④ 支払いに必要な情報(お客様番号, 確認番号, 支払い期限など)を控えてください。

### 4 検定料の払込

次のいずれかの方法で支払手続を行ってください。

a クレジットカードの場合

画面に従って, 支払手続を行ってください。

b 指定のコンビニエンスストア及びPay-easy (Pay-easy が利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング) の場合

① 支払方法を選択し, 確定後に表示される受付番号等をメモしてください。

② メモした受付番号等を使用し, 取扱い店舗で支払手続を行ってください。

※ 検定料のほかに手数料がかかります。

※ お支払い期限は, 申込日を含め4日間です。(出願締切が4日より短い場合, 締切が優先されます) また, お支払い期限内に入金がない場合, お申し込みは自動的にキャンセルとなりますのでご注意ください。

既納の検定料は返還しません。(ただし, 出願受付後に大学入試センター試験受験科目不足等で, 出願無資格者と判明した者については, 既納の検定料のうち13,000円を本学が定める方法により返還します。)

### 5 各帳票をプリンターにて印刷

検定料の支払い完了後に受信する「出願手続 検定料支払完了メール」に記載されたURLにアクセスして「web入学志願者名票」等を印刷します。

※ ページの拡大/縮小は「なし」で印刷してください。

### 6 出願書類の提出

出力した各帳票と他の必要書類(調査書等)を合わせて郵送(書留速達)または直接持参してください。

(注1) 出願書類郵送用封筒は市販の角形2号(縦33cm, 横24cm程度)の封筒に, プリンターで印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けて使用してください。

(注2) 直接持参する場合の受付時間は, 9時から17時までです。(土曜日, 日曜日を除く。)

(注3) 郵送の場合には, 受付期限後に到着したものは受理しませんので, **郵送日数等を十分考慮して「書留速達」で早めに送付してください。**

#### ① 出願書類提出期間

推薦入試	令和元年12月6日(金)～令和元年12月13日(金)(必着)
一般入試 (前期日程, 後期日程)	令和2年1月27日(月)～令和2年2月5日(水)(必着)

(注) 直接持参される場合の受付時間は, いずれも9時から17時までです。(土曜日, 日曜日を除く。)

#### ② 出願書類等の提出先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学入試課

### 7 出願上の注意

・ 出願内容の登録完了後の変更はできませんので, 入力した内容を十分に確認してください。なお, 登録内容に誤りがあった場合は, 本学入試課へ連絡してください。

上越教育大学入試課(電話 025-521-3294)

・ スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末は, 閲覧などは可能ですが, 推奨環境ではありませんので, 一部の端末画面からは正常に表示されない場合もあります。また, 印刷をするための印刷機能を必要としますので, パソコンからのご利用をお勧めします。

・ 出願受付完了後は, 受験票及び受験者心得を, 下記のとおり郵送します。

推薦入試・・・12月下旬

前期日程・・・2月上旬

後期日程・・・2月下旬

## 2 出願書類等

### (1) 全員が提出するもの

書類等	様式	摘要
①入学志願票	本学所定	インターネット出願サイトから、手続き完了後に出力すること。
②令和2センター試験成績請求票	大学入試センター所定	<p>大学入試センターから送付された「令和2センター試験成績請求票」を、上記①の入学志願票の所定の欄に貼り付けること。</p> <p>推薦入試・・・<b>推薦</b> 国公立推薦入試用</p> <p>なお、出願までに手もとに到着しなかった場合は、「未着」の旨のメモ書きを「⑧ 出願書類提出用封筒」に入れて出願し、手もとに届き次第、至急「書留速達」で送付すること。</p> <p>前期日程・・・<b>前</b> 国公立前期日程用</p> <p>後期日程・・・<b>後</b> 国公立後期日程用</p>
③受験票、写真票 ----- 実技選択科目申込票 (前期日程のみ)	本学所定	<p>インターネット出願サイトから、手続き完了後に出力すること。</p> <p>写真は、出願前3か月以内に撮影した上半身無帽正面向の写真データを用意し、登録時にアップロードすること。</p> <p><u>不鮮明な写真(顔が判別しにくいもの等)は受け付けないので、注意すること。</u></p>
④調査書※	文部科学省所定	<p>(1) 出身学校長が作成し、<b>厳封</b>したものを提出すること。</p> <p>(2) 高等学校卒業程度認定試験合格者等は、調査書に代えてその合格成績証明書又はその資格を証明する書類を提出すること。</p> <p>なお、高等学校等に在学したことがある者は、在学期間中の調査書又は成績証明書を併せて提出すること。</p> <p>(3) 専修学校高等課程修了者等は、調査書に代えてその成績証明書等を提出すること。</p>
⑤検定料(17,000円)	_____	<p>インターネット出願サイトから、所定の手順により支払手続を行うこと。</p> <p>9～10ページの「インターネット出願の流れ」の<b>4</b>「検定料の払込」も参照すること。</p>
⑥入学志願者名票	本学所定	インターネット出願サイトから、手続き完了後に出力すること。
⑦通信用封筒	長形3号	<p>インターネット出願サイトから、手続き完了後に「封筒貼付用宛名シート」を出力し、市販の長形3号の封筒(縦24cm, 横12cm程度)に貼り付けること。(封筒には、384円分の切手を貼り付けること。)</p> <p>推薦入試・・・「(推薦入試) 受験関係書類在中」の表示</p> <p>前期日程・・・「(前期日程) 受験関係書類在中」の表示</p> <p>後期日程・・・「(後期日程) 受験関係書類在中」の表示</p>
⑧出願書類提出用封筒	角形2号	<p>インターネット出願サイトから、手続き完了後に「封筒貼付用宛名シート」を出力し、市販の角形2号(縦33cm, 横24cm程度)の封筒に貼り付けること。</p> <p>出願書類を郵送する場合は、出願書類を含む封筒の重さに応じた切手を貼り、郵送すること。</p> <p>なお、出願書類を直接持参する場合は、切手は不要となる。</p>

※ 被災その他の事情により、調査書の提出が困難な場合などは、出願前に本学に問い合わせること。

**(2) 推薦入試の入学志願者全員が提出するもの**

書類等	様式	摘要
①推薦書	本学所定	出身学校長が作成し、 <b>厳封</b> したものを提出すること。 なお、文書作成ソフトで推薦書を作成しても差し支えない。 様式は、本学ホームページ「入試情報／学校教育学部」の「出願書類関係」からダウンロードすること。
②自己推薦書	本学所定	志願者本人が <b>自筆又は文書作成ソフト</b> で作成したものを提出すること。 様式は、本学ホームページ「入試情報／学校教育学部」の「出願書類関係」からダウンロードすること。

**(3) 一般入試（前期日程）の入学志願者で、面接に関係するもの（提出不要）**

書類等	様式	摘要
①集団討論のテーマ	本学所定	インターネット出願サイトから、手続き完了後に出力すること。 留意事項を確認すること。
②発表用のメモ用紙	本学所定	インターネット出願サイトから、手続き完了後に出力すること。 発表用のメモとして、自由に記入し、試験当日、試験室への持ち込みを可とする。

**(4) 一般入試（前期日程、後期日程）の入学志願者で、該当する者が提出するもの**

書類等	該当する者	摘要
①入学資格認定証書の写し	出願資格のうち、 ⑧に基づいて出願する者 (5ページ参照)	本学の個別の入学資格審査を受けて入学資格を認定された者が出願する場合は、入学資格認定証書の写しを提出すること。

## V 受験上又は修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障害等があることにより、**受験上**又は**修学上**の配慮を必要とする場合は、下記の期日までに本学に申し出てください。

また、日常生活で使用している補聴器、松葉杖及び車椅子等を使用して受験する場合も申し出てください。

**※ 受験上の配慮は必要としない場合でも、修学上の配慮を必要とする者は、必ず申し出てください。**

**(申し出を必要とする一例：高校在学時に、体育の授業等で特別な配慮を受けており、大学での授業においても引き続き特別な配慮を必要とする者等)**

### 申出の時期

- ・推薦入試 令和元年11月8日(金)まで
- ・一般入試 令和元年11月29日(金)まで

※ 期日以降に発生した不慮の事故等により、受験上又は修学上の配慮を必要とする場合は、速やかに本学入試課まで連絡してください。

### 相談の方法

相談申請書(本学所定のもの。本学ホームページからダウンロードできます。)に医師の診断書等必要書類を添付して提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る学校関係者等との面談等を行います。

### ◆連絡先

上越教育大学入試課

電話 025-521-3294

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地

## VI 一般入試

### 前期日程

#### 募集人員

77人

#### 入試方法

- 1 大学入試センター試験（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））及び実技検査等の成績並びに面接の評価結果を総合して、入学者を選抜します。
- 2 **実技検査等**は、次によるものとします。
  - (1) **小論文**  
思考力・実践力を評価するため、小論文を課します。  
【思考力】物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。  
【実践力】生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、課題を解決していくことができる。
  - (2) **実技検査**  
基礎力を評価するため、実技検査（音楽・美術・体育のうちから1科目を選択）を課します。  
【基礎力】教員を目指すために十分な幅広い基礎学力を修得している。  
音楽 …… 音楽表現の基礎的能力と適性をみます。  
美術 …… 造形表現の基礎的能力と適性をみます。  
体育 …… 運動の基礎的能力と適性をみます。
- 3 **面接**では、思考力・実践力を評価するため、集団面接試験を行います。  
【思考力】物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。  
【実践力】生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、課題を解決していくことができる。
- 4 **面接**は、次によるものとします。
  - ア 面接形式は、受験者5人程度の集団面接とします。
  - イ 面接は、3人の面接担当者で行います。
  - ウ 個別質問、プレゼンテーション、集団討論を行います。
  - エ 面接は、調査書の内容を併せて総合的に評価します。

#### 試験の日程

実施日	時間	試験科目
令和2年2月25日（火）	10：00～11：30	小論文
	13：00～17：00	実技検査（音楽）
	13：00～15：00	実技検査（美術）
	13：00～17：00	実技検査（体育）
令和2年2月26日（水）	9：00～13：00（予定）	面接

（注）実技検査のうち音楽及び体育は、個人検査のため志願者数によって時間を延長することがあります。

## 試 験 場

上越教育大学

所在地：新潟県上越市山屋敷町1番地

## 試 験 の 実 施 方 法

試験科目	実施方法	
<b>小論文</b> (全員に課す。)	文章(資料, 図, 表等を示すことがある。)を読み, その内容に関し800字以内で論述する。	
<b>面接</b> (全員に課す。)	個別質問, プレゼンテーション, 集団討論を行う。 プレゼンテーション, 集団討論では, あらかじめ提示する討論テーマについて, 1人2分から3分で意見を発表した後, それを踏まえてグループ全体で討論する。 集団討論のテーマ及び面接実施方法の詳細については, インターネット出願時(10ページ「IV 出願手続」の「1 出願方法」の⑤で印刷する帳票)に提示する。	
<b>実技検査</b> (音楽, 美術, 体育のうちから1科目を選択する。)	音 楽	<基礎音楽能力テスト> 音程感やリズム感を含む総合的能力をみる。 ①聴いたリズムを打つ。 ②ピアノの音を聴いて, それと同じ高さの声を出す。 ③簡単な旋律の楽譜を見て歌う。
	美 術	<造形表現テスト> 構成する力, 素材への積極的なかかわり, 描画する力を含む総合的な表現力をみる。 ○与えられた複数の描画対象物を自由に配置し, 鉛筆により描画する。 (描画対象物は, 野菜や果物などの自然物, 日用品などの人工物を配付する。出題例: りんご, れんが, ロープなど)
	体 育	<運動能力テスト> 敏捷性, 脚筋力, 調整力及び柔軟性を含む総合的な運動の基礎的能力を次の3種目でみる。 ①反復横とび ②立ち三段跳び* ③長座体前屈  ※ 両足を揃えた立位姿勢から, 右足, 左足(または左足, 右足)と接地し, 3歩目に両足で着地する跳躍運動

## 配 点 等

### 1 配 点

大学入試センター試験と実技検査等の配点比率は、5：1とします。

配点内訳は、次のとおりです。なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大学入試センター試験						実技検査等			面接	
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	計	小論文	実技		計
200	100又は200		100 又は200	200	200	900	90	90	180	段階評価とする

(注1) 外国語の英語については、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点を200点満点に換算します。

(注2) 英語リスニングを免除された者については、筆記(200点満点)の得点のみを英語の得点とします。

### 2 合否判定

大学入試センター試験、小論文及び実技検査の成績並びに面接の評価結果を総合し、成績の上位から合格者を決定します。

## 合 格 者 の 発 表

### 令和2年3月10日(火)

合格者には、合格通知書及び入学手続に必要な書類等を送付します。

また、合格発表日の正午(予定)から約1週間、本学のホームページ(<https://www.juen.ac.jp/>)上で、合格者の受験番号を掲載します。なお、これは、情報提供の一環として行うものであり、その安全性を保障することはできませんので、必ず合格通知書で確認してください。

(注) 合否に関しての電話等による問い合わせには、一切応じません。

## 入 学 手 続

合格者は、次により入学手続を行ってください。

### 1 入学手続期間

**令和2年3月13日(金)から令和2年3月15日(日)までです。【必着】**

(注) ① 直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までです。

② 郵送する場合は、書留速達とし、3月15日(日)17時15分までに本学に必ず着くよう郵送日数等を十分考慮して早めに送付してください。

なお、合格者発表日(3月10日(火))から入学手続の最終日(3月15日(日))までの期間が短いので、できるだけ入学手続書類を持参することとし、「3 納付金・提出書類等」の(1)から(3)までのものを前もって用意しておいてください。

### 2 入学手続場所

**上越教育大学 教育支援課教務支援チーム 電話 025-521-3278**

### 3 納付金・提出書類等

- (1) 入学料 282,000円
- (2) 本学の受験票及び令和2年度大学入試センター試験受験票
- (3) 写真3枚 (上半身無帽正面向 縦4cm×横3cm)

(4) その他入学手続に必要な書類等（合格通知書送付時に同封する入学手続関係書類等を参照してください。）

(注)

① 前期分の授業料については、令和2年4月以降に代行納付（口座振替）による納付となります。

なお、授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

授業料 前期分 267,900円

[年額 535,800円]

② 入学料及び授業料の金額は、平成31年度入学者用の金額であり、今後改定される場合があります。

③ 令和2年4月から実施される高等教育の修学支援新制度では、給付型奨学金のほか、入学料及び授業料の減免制度があります。新制度の利用を検討されている方は、支援対象者の要件等、日本学生支援機構（JASSO）のWebページにて確認してください。

④ 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

#### 4 留意事項

- (1) 入学手続の際、「令和2年度大学入試センター試験受験票」に大学名等を押印したものを、入学手続完了済証とします。
- (2) 令和2年3月15日(日)までに入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。
- (3) 本学へ入学手続を完了した者は、これを辞退して他の国公立大学・学部へ入学手続を行うことはできません。
- (4) 他の国公立大学・学部へ入学手続を完了した者は、これを辞退して本学へ入学手続を行うことはできません。
- (5) **入学手続後においては、既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。**

## そ の 他

- 1 試験当日は、必ず本学発行の「受験票」及び大学入試センター発行の「令和2年度大学入試センター試験受験票」を持参してください。
- 2 受験のための宿泊施設のあっせんは行っていません。

## 後 期 日 程

### 募 集 人 員

33人

### 入 試 方 法

- 1 大学入試センター試験（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））の成績及び面接の評価結果を総合して入学者を選抜します。
- 2 **面接**では、特に学び続ける力と人間力に優れた学生を選抜するため、主に教職への強い関心・意欲と人間性を高めようとする意志に関して質問する個別面接試験を行います。  
【学び続ける力】教員を目指す強い意志を持ち、積極的に学修を進めていくことができる。  
【人間力】自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。
- 3 **面接**は、次によるものとします。  
ア 面接形式は、個別面接とします。  
イ 面接は、3人の面接担当者で行います。  
ウ 面接は、調査書の内容を併せて総合的に評価します。

### 試 験 の 日 程

実施日	時 間	試 験 科 目
令和2年3月12日（木）	9：00～17：00（予定）	面 接

### 試 験 場

上越教育大学

所在地：新潟県上越市山屋敷町1番地

### 配 点 等

#### 1 配 点

大学入試センター試験の配点内訳と面接の評価は、次のとおりです。なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大学入試センター試験						面 接	
国 語	地理歴史	公 民	理 科	数 学	外 国 語		計
200	100又は200		100 又は200	200	200	900	段階評価とする

（注1）外国語の英語については、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を200点満点に換算します。

（注2）英語リスニングを免除された者については、筆記（200点満点）の得点のみを英語の得点とします。

## 2 合否判定

大学入試センター試験の成績及び面接の評価結果を総合し、成績の上位から合格者を決定します。

## 合格者の発表

### 令和2年3月23日(月)

合格者には、合格通知書及び入学手続に必要な書類等を送付します。

また、合格発表日の正午(予定)から約1週間、本学のホームページ (<https://www.juen.ac.jp/>) 上で、合格者の受験番号を掲載します。なお、これは、情報提供の一環として行うものであり、その安全性を保障することはできませんので、必ず合格通知書で確認してください

(注) 合否に関しての電話等による問い合わせには、一切応じません。

## 入学手続

合格者は、次により入学手続を行ってください。

### 1 入学手続期間

**令和2年3月25日(水)から令和2年3月27日(金)までです。【必着】**

(注) ① 直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までです。

② 郵送する場合は、書留速達とし、3月27日(金)17時15分までに本学に必ず着くよう郵送日数等を十分考慮して早めに送付してください。

なお、合格者発表日(3月23日(月))から入学手続の最終日(3月27日(金))までの期間が短いので、できるだけ入学手続書類を持参することとし、「3 納付金・提出書類等」の(1)から(3)までのものを前もって用意しておいてください。

### 2 入学手続場所

**上越教育大学 教育支援課教務支援チーム 電話 025-521-3278**

### 3 納付金・提出書類等

(1) 入学料 282,000円

(2) 本学の受験票及び令和2年度大学入試センター試験受験票

(3) 写真3枚(上半身無帽正面向 縦4cm×横3cm)

(4) その他入学手続に必要な書類等(合格通知書送付時に同封する入学手続関係書類等を参照してください。)

(注)

① 前期分の授業料については、令和2年4月以降に代行納付(口座振替)による納付となります。

なお、授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

授業料	前期分	267,900円
	[年額]	535,800円]

② 入学料及び授業料の金額は、平成31年度入学者用の金額であり、今後改定される場合があります。

③ 令和2年4月から実施される高等教育の修学支援新制度では、給付型奨学金のほか、入学料及び授業料の減免制度があります。新制度の利用を検討されている方は、支援対象者の要件等、日本学生支援機構(JASSO)のWebページにて確認してください。

④ 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

#### 4 留意事項

- (1) 入学手続の際、「令和2年度大学入試センター試験受験票」に大学名等を押印したものを、入学手続完了済証とします。
- (2) 令和2年3月27日(金)までに入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。
- (3) 本学へ入学手続を完了した者は、これを辞退して他の国公立大学・学部へ入学手続を行うことはできません。
- (4) 他の国公立大学・学部へ入学手続を完了した者は、これを辞退して本学へ入学手続を行うことはできません。
- (5) **入学手続後においては、既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。**

### そ の 他

- 1 **試験当日は、必ず本学発行の「受験票」及び大学入試センター発行の「令和2年度大学入試センター試験受験票」を持参してください。**
- 2 受験のための宿泊施設のあっせんは行っていません。

# 追 加 合 格

令和2年3月27日(金)を過ぎて、なお**入学定員に欠員が生じた場合**には、追加合格を次により行います。

## 追 加 合 格 者 へ の 通 知 等

### 1 追加合格者への通知

追加合格者には、**令和2年3月28日(土)から令和2年3月31日(火)までの間に入学志願票の連絡先(志願者)あてに電話で連絡するとともに「電子郵便」で通知します。**

**上記期間中は、必ず本人と直接連絡ができるようにしておいてください。**

なお、追加合格者の受験番号の発表は行いません。

### 2 入学の意志確認

通知を受けた者は、入学の意志確認のため、本学が指定する期日までに次の番号に電話で連絡してください。

**電 話 025-521-3294 (上越教育大学入試課)**

## 入 学 手 続

入学する意志表示をした追加合格者は、次により入学手続を行ってください。

### 1 入学手続期間

**令和2年3月29日(日)から令和2年3月31日(火)まで**です。

受付時間等の詳細については、追加合格者あての「電子郵便」で連絡します。

なお、**入学手続は本人が直接大学に来て行ってください。**

### 2 入学手続場所

**上越教育大学 教育支援課教務支援チーム 電話 025-521-3278**

### 3 納付金・提出書類等

**入学手続当日は、次の(1)から(3)までのものを必ず持参してください。その他入学手続に必要な書類等は、入学手続当日に配付します。**

- (1) 入学料 282,000円
- (2) 本学の受験票及び令和2年度大学入試センター試験受験票
- (3) 写真3枚 (上半身無帽正面向 縦4cm×横3cm)

(注)

① 前期分の授業料については、令和2年4月以降に代行納付（口座振替）による納付となります。

なお、授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

授業料 前期分 267,900円

[年額 535,800円]

② 入学料及び授業料の金額は、平成31年度入学者用の金額であり、今後改定される場合があります。

③ 令和2年4月から実施される高等教育の修学支援新制度では、給付型奨学金のほか、入学料及び授業料の減免制度があります。新制度の利用を検討されている方は、支援対象者の要件等、日本学生支援機構（JASSO）のWebページにて確認してください。

④ 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

#### 4 留意事項

- (1) 入学手続の際、「令和2年度大学入試センター試験受験票」に大学名等を押印したものを、入学手続完了済証とします。
- (2) 令和2年3月31日(火)までに入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。
- (3) 本学へ入学手続を完了した者は、これを辞退して他の国公立大学・学部へ入学手続を行うことはできません。
- (4) 他の国公立大学・学部へ入学手続を完了した者は、これを辞退して本学へ入学手続を行うことはできません。
- (5) **入学手続後においては、既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。**

## Ⅶ 推薦入試

### 募集人員

50人

### 推薦要件

平成30年4月から平成31年3月までに高等学校等を卒業（修了）又は令和2年3月高等学校等を卒業（修了）見込みの者（5ページの「3 出願資格(2)」参照）で、次の①から③までのすべてに該当し、かつ、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者です。なお、各出身学校長が推薦できる人数の制限はありません。

- ① 出身学校長が、初等教育教員になるためにふさわしい意欲、資質、能力、適性等を有する者として、責任をもって推薦する者
  - ② 令和2年度大学入試センター試験（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））を受験する者
  - ③ 調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者
- （注）上記の推薦要件に該当しない者については、出願書類を受理しません。

### 入試方法

- 1 出身学校長の推薦に基づき、面接及び大学入試センター試験（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））の成績により、入学者を選抜します。
- 2 **面接**では、特に実践力と人間力に優れた学生を選抜するため、高等学校等の段階での経験・活動実績を踏まえて総合的に質問します。  
【実践力】生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、課題を解決していくことができる。  
【人間力】自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。
- 3 **面接**は、次によるものとします。  
ア 面接形式は、個別面接とします。  
イ 面接は、3人の面接担当者で行います。  
ウ 面接は、推薦書、自己推薦書及び調査書の内容を併せて総合的に評価します。
- 4 合格者の判定は、全受験者を一括して行います。

### 試験の日程

実施日	時間	試験科目
令和2年1月31日（金）	9：00～17：00（予定）	面接

### 試験場

上越教育大学

所在地：新潟県上越市山屋敷町1番地

## 配 点 等

### 1 配 点

大学入試センター試験と面接の配点比率は、10：3とします。

配点内訳は、次のとおりです。なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大学入試センター試験						面接	
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語		計
200	100又は200		100 又は200	200	200	900	270

(注1) 外国語の英語については、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点を200点満点に換算します。

(注2) 英語リスニングを免除された者については、筆記(200点満点)の得点のみを英語の得点とします。

### 2 合否判定

面接及び大学入試センター試験の成績を総合し、成績の上位から合格者を決定します。

なお、面接の成績が配点の50%未満の場合には、合格者としません。

## 合 格 者 の 発 表

### 令和2年2月12日(水)

受験者及び出身学校長あてに合否の通知を行い、合格者には入学手続に必要な書類等を送付します。

また、合格発表日の正午(予定)から約1週間、本学のホームページ(<https://www.juen.ac.jp/>)上で、合格者の受験番号を掲載します。なお、これは、情報提供の一環として行うものであり、その安全性を保障することはできませんので、必ず合格通知書で確認してください。

(注) 合否に関しての電話等による問い合わせには、一切応じません。

## 入 学 手 続

合格者は、次により入学手続を行ってください。

### 1 入学手続期間

令和2年2月17日(月)から令和2年2月19日(水)までです。【必着】

(注) ① 直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までです。

② 郵送する場合は、書留速達とし、2月19日(水)17時15分までに本学に必ず着くよう郵送日数等を十分考慮して早めに送付してください。

なお、合格者発表日(2月12日(水))から入学手続の最終日(2月19日(水))までの期間が短いので、できるだけ入学手続書類を持参することとし、「3 納付金・提出書類等」の(1)から(3)までのものを前もって用意しておいてください。

### 2 入学手続場所

上越教育大学 教育支援課教務支援チーム 電話 025-521-3278

### 3 納付金・提出書類等

(1) 入学料 282,000円

(2) 本学の受験票及び令和2年度大学入試センター試験受験票

(3) 写真3枚(上半身無帽正面向 縦4cm×横3cm)

(4) その他入学手続に必要な書類等(合格通知書送付時に同封する入学手続関係書類等を参照してください。)

(注)

- ① 前期分の授業料については、令和2年4月以降に代行納付（口座振替）による納付となります。  
なお、授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。  
授業料 前期分 267,900円  
[年額 535,800円]
- ② 入学料及び授業料の金額は、平成31年度入学者用の金額であり、今後改定される場合があります。
- ③ 令和2年4月から実施される高等教育の修学支援新制度では、給付型奨学金のほか、入学料及び授業料の減免制度があります。新制度の利用を検討されている方は、支援対象者の要件等、日本学生支援機構（JASSO）のWebページにて確認してください。
- ④ 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

#### 4 留意事項

- (1) 入学手続の際、「令和2年度大学入試センター試験受験票」に大学名等を押印したものを、入学手続完了済証とします。
- (2) 推薦入試の合格者は、他の国公立大学・学部を受験しても入学許可は得られないので注意してください。ただし、次項の「入学辞退手続」により本学への入学辞退について学長の許可を得た者は、この限りではありません。
- (3) 令和2年2月19日(水)までに入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。この場合も、他の国公立大学・学部を受験しても入学許可は得られないので注意してください。
- (4) 国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、推薦入試の合格及び入学手続等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (5) **入学手続後においては、既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。**

### 入学辞退手続

推薦入試の合格者が特別の事情により本学に入学することが困難となった場合には、**当該者を推薦した出身学校長が「推薦入学辞退願」（本学所定のもの）を令和2年2月19日(水)16時までに本学に提出し、本学学長の許可を得なければなりません。**

提出先：上越教育大学 教育支援課教務支援チーム 電話 025-521-3278

### その他

- 1 試験当日は、必ず本学発行の「受験票」及び大学入試センター発行の「令和2年度大学入試センター試験受験票」を持参してください。
- 2 受験のための宿泊施設のあっせんは行っていません。

## VIII 欠員補充第2次募集

令和2年3月31日(火)の時点において入学定員に欠員が生じた場合に、欠員補充第2次募集を行います。

### 募 集 人 員

#### 入学定員に欠員が生じた人員

### 出 願 資 格

次の①から⑧までのいずれかに該当し、令和2年度大学入試センター試験（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））を受験した者で、かつ、次の⑨又は⑩のいずれかに該当する者です。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
  - ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
  - ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
  - ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
  - ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
  - ⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
  - ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
  - ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの（これにより出願する場合の手続きは、7ページを参照してください。）
  - ⑨ 令和2年3月24日(火)の時点で、いずれの国公立大学・学部にも合格していない者（いずれの国公立大学・学部にも出願していない者を含む。）
  - ⑩ 令和2年3月24日(火)の時点で、国公立大学・学部合格していたが、欠員補充第2次募集出願時において、いずれの国公立大学・学部にも入学手続を行っていない者
- (注) 3月中に出願受付を行う他の国公立大学・学部の第2次募集に出願した者も出願できません。ただし、本学の欠員補充第2次募集に出願後、他の国公立大学・学部へ入学手続を行った場合は、受験しても入学許可は得られません。

### 出 願 書 類

#### 1 全員が提出するもの

書 類 等	様 式	摘 要
1 入学志願票	本学所定	本学ホームページ「入試情報/学校教育学部」の「出願書類関係」から、所定の様式をダウンロードし、作成すること。
2 令和2年度大学入試センター試験受験票の写し	大学入試センター所定	出願受付に際して、大学入試センター発行の「令和2年度大学入試センター試験受験票」の「写し」を1部提出すること。

書類等	様式	摘要
3 受験票・写真票	本学所定	本学ホームページ「入試情報／学校教育学部」の「出願書類関係」から、所定の様式をダウンロードし、作成すること。 裏面に氏名を書いた写真（縦4cm×横3cm上半身無帽正面向のもので、出願前3か月以内に撮影したもの）を貼り付けること。
4 調査書※	文部科学省所定	(1) 出身学校長が作成し、 <b>厳封</b> したものを提出すること。 (2) 高等学校卒業程度認定試験合格者等は、調査書に代えてその合格成績証明書又はその資格を証明する書類を提出すること。なお、高等学校等に在学したことのある者は、在学期間中の調査書又は成績証明書を併せて提出すること。 (3) 専修学校高等課程修了者等は、調査書に代えてその成績証明書等を提出すること。 (4) 調査書、合格成績証明書及び成績証明書等は、出願手続の際に持参すること。
5 検定料（17,000円）	金融機関所定	本学ホームページ「入試情報／学校教育学部」の「出願書類関係」で「検定料の払込方法」を参照の上、払い込み、これを証明できるもの（振込受付書 等）を入学志願票に添付すること。 既納の検定料は返還しない。（ただし、出願受付後に大学入試センター試験受験科目不足等で、出願無資格者と判明した者については、既納の検定料のうち13,000円を本学が定める方法により返還する。）
6 志願者名票	本学所定	本学ホームページ「入試情報／学校教育学部」の「出願書類関係」から、所定の様式をダウンロードし、作成すること。

※ 被災その他の事情により、調査書の提出が困難な場合などは、出願前に本学に問い合わせること。

## 2 該当する者が提出するもの

書類等	該当する者	摘要
入学資格認定証書の写し	出願資格のうち、⑧に基づいて出願する者（26ページ参照）	本学の個別の入学資格審査を受けて入学資格を認定された者が出願する場合は、入学資格認定証書の写しを提出すること。

## 入 試 方 法

大学入試センター試験（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））の成績及び調査書の内容を総合して、入学者を選抜します。

## 欠員補充第2次募集の公表

- 欠員補充第2次募集の実施の有無については、令和2年4月1日（水）正午頃、本学のホームページ(<https://www.juen.ac.jp/>)で公表します。  
なお、実施する場合には「欠員補充第2次学生募集要項」を公表する予定ですので、注意してください。
- 出願方法、合格者の発表、入学手続、その他必要な事項については、実施する場合に発表する「欠員補充第2次学生募集要項」を参照してください。

## IX その他

### 大規模災害で被災した志願者への検定料等免除

上越教育大学では、東日本大震災、長野県北部地震、福島第一原子力発電所の事故、熊本地震、平成30年7月豪雨又は平成30年北海道胆振東部地震で被災した方の進学機会の確保を図る観点から、令和2年度学校教育学部入学試験の実施に当たり、下記のとおり特別措置を実施します。

記

#### 1 特別措置の内容

令和2年度上越教育大学学校教育学部入学試験（一般入試（前期・後期）及び推薦入試）に係る検定料（17,000円）の全額免除、入学料及び授業料の全額又は半額の免除

#### 2 免除の対象者

(1) 東日本大震災、長野県北部地震、熊本地震、平成30年7月豪雨又は平成30年北海道胆振東部地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者

① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合

② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

(2) 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者

#### 3 免除方法

検定料の免除については、出願後の申請により還付します。

したがって、出願時には、必ず検定料の払込が必要となります。

入学料及び授業料の免除については、入学手続き時にお知らせします。

#### 4 申請方法

「検定料免除許可申請書 兼 還付請求書」（本学のホームページ（<https://www.juen.ac.jp/>）からダウンロードしてください。）に証明書類を添付の上、申請してください。

（必要な証明書類）

免除対象	必要書類
主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	り災証明書（写し可）
主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書（写し可）

#### 5 検定料免除の申請期間

出願後 ～ 令和2年2月28日（金）（消印有効）

#### 6 検定料免除申請書の提出先

上越教育大学入試課

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地

※ 封筒の表に「検定料免除申請書在中」と朱書してください。

#### 7 問い合わせ先

① 検定料免除に関すること

上越教育大学入試課（電話025-521-3294）

② 入学料及び授業料の免除に関すること

上越教育大学学生支援課（電話025-521-3286）

## 入試の個人成績等の開示

本学では、令和2年度における一般入試（前期日程，後期日程）及び推薦入試の個人成績及び調査書を**本人に限り**次のとおり開示します。

### 1 申請受付期間

**令和2年5月7日(木)～令和2年5月20日(水)**

- ・ 窓口での申請受付は、土曜日及び日曜日を除く日の9時から17時までです。
- ・ 郵送による申請は、5月20日(水)本学到着分まで受け付けます。

### 2 申請方法

(1) 入試成績等開示申請書（本学所定の用紙）の請求

用紙は、令和2年5月7日以降に窓口（本学入試課）で請求するか、本学ホームページ（<https://www.juen.ac.jp/>）からダウンロードしてください。

なお、郵送により用紙を請求する場合は、封筒に「学部入試成績等開示申請書請求」と朱書し、本学入試課あてに返信用封筒を同封の上、郵送してください。

返信用封筒は、長形3号（縦24cm，横12cm程度）の封筒に、本人の住所・氏名を記入し、84円分の郵便切手を貼り付けてください。

(2) 開示の申請

#### <窓口への持参による申請>

次のものを持参してください。

- ① 入試成績等開示申請書
- ② 本学受験票及び大学入試センター試験受験票（コピー不可）  
※ 受験票を紛失した場合は、本人を確認できる身分証明書等を持参してください。
- ③ 返信用封筒（長形3号封筒に、本人の住所・氏名を記入し、519円分の郵便切手を貼り付けたもの）

#### <郵送による申請>

次のものを必ず「書留」で郵送してください。

- ① 入試成績等開示申請書
- ② 本学受験票及び大学入試センター試験受験票（コピー不可）
- ③ 返信用封筒（長形3号封筒に、本人の住所・氏名を記入し、519円分の郵便切手を貼り付けたもの）

**(注) 申請は本人に限ります。代理人又は電話での申込みには応じません。**

### 3 開示内容

令和2年度入試に係る次の内容を開示します。

(1) 得点等

① 一般入試

本学が判定に利用した大学入試センター試験の教科・科目ごとの得点及び合計点並びに一般入試の試験区分ごとの得点及び面接の評価結果を開示します。

② 推薦入試

本学が判定に利用した大学入試センター試験の教科・科目ごとの得点及び合計点並びに面接の得点を開示します。

(2) 順位

各入試の順位を開示します。

(3) 調査書

「指導上参考となる諸事項」，「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」欄を除き開示します。

### 4 開示方法

申請時に提出された返信用封筒により、後日「書留」により開示内容を郵送します。

※ 詳しくは、本学ホームページ（<https://www.juen.ac.jp/>）の「入試情報／学校教育学部／インフォメーション」→「個人成績等の開示」をご覧ください。

## 出願状況等の提供

本学では、令和2年度入試の出願状況等について、次のとおり本学ホームページ (<https://www.juen.ac.jp/>) に掲載します。

- ・ 推薦入試の出願状況（出願者数及び倍率）  
掲載期間：令和元年12月16日(月)午前9時～令和2年1月6日(月)
- ・ 一般入試（前期日程，後期日程）の出願状況（出願者数及び倍率）  
掲載期間：令和2年1月28日(火)午前9時～令和2年2月7日(金)
- ・ 欠員補充第2次募集実施の有無  
掲載月日：令和2年4月1日(水)正午頃

## 入学者に対する麻疹（はしか）等の防止措置

### 1 麻疹（はしか）の抗体陽性を示す証明書の提出（必須）

本学では、感染拡大を未然に防止するため、及び適切な教育研究環境を確保するため、入学時に、麻疹（はしか）について「抗体」を有していることの証明書を提出していただくことにしています。

### 2 風疹，水痘，ムンプス（おたふく風邪）についての勧奨（任意）

風疹，水痘，ムンプス（おたふく風邪）についても，麻疹（はしか）と同様の目的で抗体の有無を検査していただき，検査の結果，陰性又は低抗体価であった場合にはワクチンを接種していただくことをお勧めいたします。

### 3 抗体の検査方法等，詳細については，合格通知書送付時に同封する入学手続関係書類に記載しますので，それに従ってください。

## 教育実習等に係る費用負担

本学の教育実習は附属学校園（上越市）のほか，上越市，妙高市，糸魚川市及び柏崎市の幼稚園・保育園・こども園，小学校，中学校，特別支援学校から連携協力を受けており，学生は本学の指定する学校園で教育実習を行うこととなります。

大学所在地から実習校園までの距離は，指定された学校園毎に様々です。遠方の学校では，おおよそ上越市内で30km，妙高市内で35km，糸魚川市内及び柏崎市内で45kmの距離があり，公共交通機関又は自家用自動車を利用していただくこととなります。

なお，教育実習に係る交通費，教育実習のための教科書（教育実習ハンドブック含む）及びその他教育実習に必要なものの購入は自己負担となります。

また，本学は養成定員20人の指定保育士養成施設として認可されており，保育実習を含む定められた科目を修得することで，保育士となる資格が得られます。教育実習と同様に保育実習に係る交通費等は自己負担となります。

## ノート型パーソナルコンピュータの所持

本学では、教育・研究におけるICT（情報通信技術）活用を積極的に推進するとともに、学校における教育活動においてICTを一つ的手段として活用し、効果的で魅力的な授業実践を通して児童・生徒の確かな学力の習得を図ること、及び、ICTを校務処理に活用し、効率的な学校運営を行うことなど、ICT活用指導力を身に付けた教師の育成を図っていきたいと考えています。

このため平成17年度入学生からノート型パーソナルコンピュータを所持いただいております。このコンピュータを活用できるよう、図書館や食堂を含む学内の教育空間のほぼ全域に無線LAN環境を整備し、学生はどこでも自由にインターネットに接続し、学習できるようになっています。

なお、入学に際して御用意いただくノート型パーソナルコンピュータの仕様や入学後の支援、その他必要な事項については、入学手続き時に改めて御案内させていただきます。

## キャンパス内全面禁煙

本学では、受動喫煙を防止し、学生及び教職員等の健康を守るため、また、公立学校等における敷地内全面禁煙の実施状況を踏まえ、将来教育現場に就職することとなる学生に対し、在学中に喫煙習慣を持たせないための環境を整備するため、キャンパス内全面禁煙（学生宿舎を含みます。）としています。

## 本学に関する問い合わせ

学生募集要項の請求、出願方法及び入学手続等についての照会は、下記のそれぞれの担当に連絡してください。

**学生募集要項（PDF版）は、本学ホームページから閲覧・ダウンロードできます。（PDF版も冊子体も同じ内容です。）また、大学案内は本学ホームページでご覧いただけます。**

なお、学生募集要項又は大学案内の冊子体を希望する場合は、テレメール、モバっちよ及び電話等で請求できます。請求方法は、本学のホームページを参照するか、下記の担当にお問い合わせください。

- (1) 学生募集要項又は大学案内の請求及び出願方法等に関すること

**上越教育大学 入試課**

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地

電話 025-521-3294 <https://www.juen.ac.jp/>

- (2) 入学手続に関すること

**上越教育大学 教育支援課教務支援チーム**

電話 025-521-3278

## コース・領域の紹介

上越教育大学は、学生が、初等教育全般にわたる総合的な理解を深め、初等教育教員として必要な資質能力を培うとともに、さらに特定の分野の専門性を深め、中等教育をも見据えて力量を高めることができるよう、次の各コース・領域を設けています。

学生は、2年次以降、本人の希望と1年次の成績に基づいて決定されたコース・領域に所属し、そのコース・領域に応じて、それぞれ所定の授業科目を履修することになります。

コース・領域名及び標準学生数は次のとおりです。

なお、教科内容構成コース・保健体育領域については、保健分野も含んだ領域となっています。

専 修	コ ー ス	領 域	標 準 学 生 数
学 校 教 育 専 修	学 校 教 育 実 践	教科教育実践 学級経営実践	約20人
	先端教科・領域学習	小学校英語 プログラミング教育 教科横断 学習支援	約10人
	現代教育課題	学習臨床・授業研究 発達と教育連携 道徳・生徒指導	約25人
	幼 年 教 育	幼 年 教 育	約9人
	心 理 臨 床	臨 床 心 理	約6人
	教科内容構成	国 語 英 語 社 会 数 学 理 科 音 楽 美 術 保 健 体 育 技 術 家 庭	約90人

学生は、所定の卒業要件単位を修得することによって、全学生が学士（教育学）の学位を受けるほか、小学校教諭一種免許状を取得できます（幼年教育コースに所属する学生の場合には、幼稚園教諭一種免許状も合わせて取得できます。）。その上に所要の単位を修得することによって、幼稚園教諭の一種か二種の免許状、もしくは特定教科の中学校教諭の一種か二種の免許状、さらに高等学校教諭の一種免許状を選択して取得することができます。（ただし、授業時間割の制約上、希望する免許状が取得できないこともあります。）

○卒業要件に含まれる免許状

小学校教諭一種免許状

幼稚園教諭一種免許状（幼年教育コース）

○履修の仕方によって取得可能な免許状

幼稚園教諭一種免許状

中学校教諭一種免許状（国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，保健，技術，家庭，英語）

高等学校教諭一種免許状（国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，工芸，保健体育，保健，家庭，情報，英語）

平成 3 1 年度入試合格者成績情報

日 程 ・ 試 験 の 区 分		配点	平成31年度合格者		
			最高点	最低点	平均点
前期日程	大学入試センター試験	900	6 5 4 点	5 2 2 点	5 8 2 . 4 点
	個別学力検査等	小 論 文	7 1 点	4 1 点	5 5 . 8 点
		実技検査	90	8 6 点	2 7 点
後期日程	大学入試センター試験	900	6 6 4 点	6 0 9 点	6 3 4 . 2 点
推薦入試	大学入試センター試験	900	6 5 0 点	5 0 9 点	5 7 3 . 3 点
	面接	270	2 2 5 . 6 点	1 9 8 点	2 2 5 . 6 点

平成 3 1 年度入学試験状況

区分	難 員	応 募 者	受 験 者	当初合格者	当初手続者	追加合格	追合手続	合格者総数	入学者数
推薦	50	1 4 0 (100)	1 3 6 (97)	5 0 (36)	5 0 (36)			5 0 (36)	5 0 (36)
前期	77	2 1 1 (107)	1 5 5 (68)	8 9 (32)	8 7 (32)			8 9 (32)	8 7 (32)
後期	33	3 4 0 (169)	1 0 2 (53)	3 8 (19)	3 1 (15)			3 8 (19)	3 1 (15)
私費	新入	0	—	—	—			—	—
計	160	6 9 1 (376)	3 9 3 (218)	1 7 7 (87)	1 6 8 (83)			1 7 7 (87)	1 6 8 (83)

( ) 内は女子で内数



# 平成31年度 上越教育大学入学者選抜試験

## 試 験 問 題

前期日程	後期日程	推薦入試
小論文 小論文出題の意図 小論文採点基準 面接における質問事項等 実技検査（音楽） 実技検査（美術） 実技検査（体育）	面接における主な質問事項	面接における主な質問事項

# 小論文試験問題

## 小論文試験問題出題の意図

筆者は、「存在の相互性」からケアをする側、される側の関係性について考察している。学校は多くの人が集まる「社会」であり、様々な関係が結ばれ、関係の中で子どもたちは成長していく。未来の教育に当たるとして学校教育における「存在の相互性」の意図について論じてほしい。

それによって、読解力や独自の思考力、表現力を見る。

### 注意事項

- 一 解答を始める前に、解答用紙に受験番号と氏名を正確に記入すること。
- 二 解答は、「H、F、HB」の黒鉛筆又はシャープペンシルで記入すること。
- 三 印刷が不鮮明な場合を除いて、一切の質問に応じない。
- 四 解答は、解答用紙の所定の欄に縦書きで記入すること。下書き用紙での解答は無効である。
- 五 試験終了までに、下書き用紙から解答用紙に転記できないことのないよう、下書きと解答の時間配分を十分考えて解答すること。
- 六 試験終了後は、解答用紙だけを提出すること。
- 七 問題用紙と下書き用紙は、各自持ち帰ること。

**次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。**

映画「えんとこ」（伊勢真一監督）のなかの話である。遠藤滋という、重度の障害者として東京都ではじめて養護学校の教員に採用されたこのひとは、四十を過ぎて障害がさらに重くなって教職を辞し、寝たきりの生活を始めた。が、その介助を家族にではなく街の若者たちに、二十四時間三交替の介助体制でしてもらうことにした。それがもう十年以上続いている。介護の勉強も体験もしたことのない若者たちに、である。そしてじぶんでは何もできないというそういう状況そのものを「学校」にしようとしたのだ。その「学校」には日誌がある。そのなかに引き継ぎの連絡事項のみならず、それぞれの個人的な悩みごとやときには遠藤さんへの不満まで率直に書かれている。そのなかに二つの対照的な文章があった。

たぶん同じことを友達に話しても、すごく軽くとられるようなことでも、遠藤さんなら一生懸命聴いてくれるし、本気で答えてくれるし、それがうれしかったんだと思います。

あなたが言語障害を持っててよかったと思う。一言一言を聞き漏らすまいと、耳を傾ける事ができるから。あなたが生まれてきてよかった。

聴いてもらえてうれしかったという感想と、聴くことができてよかったという感想。つまり他人に関心をもたれることだけでなく、他人に関心をもつことで、じぶんを支えることができたという思いが、ここには綴られている。ひとは他人に何かをしてもらうことでじぶんを支えることもできるが、他人に何かをしてあげることもできる。ケアというのは、他人に力をあげるだけでなく、他人に力をもらうことでもあるのだ。そういう経験のなから、遠藤さんの宣言、「他人に迷惑をかけること、それは大いに必要なことである」という言葉が生まれた。

そういうふうに考えてみると、ケアの問題のいちばん核心にあるのは、ひとにおいてはだれかの傍らにいてというただそれだけのことで、力を与えあうという関係が両者のあいだで発生することになるのはなぜか、という問いだということが見えてくる。

念を押して、もうひとつ、わたしが聞いた話を。かつてわたしの哲学ゼミにいて、その後看護師の道歩んだひとりの男の話なのだが、彼がはじめて精神病棟で勤務についた日、患者さんたちの病室にある混乱が起こり、先輩の看護師から「おい、薬に行つてこい」と命じられた。「薬に行つてこい」というのは、病室のまん中で寝てこいという意味だった。混乱のなかでひとりぼつんと大の字になって寝る。何もしない。ところがしばらくすると辺りがだんだん静かになり、気配を感じてふと目を開けると、こいつどうしたんだろう……といった顔つきで彼の顔をのぞき込むいくつかの顔があったというのである。これが「薬」なのだ、その先輩は言いたかったのである。「薬」とは、何もせずに患者の傍らにいつづけるということであった。生きる動機を内に感じあぐねている患者のなかに他者への関心が生まれるようにする「薬」であった。

極端な例ばかりを挙げすぎたかもしれない。しかし、ケアについて考えるときに、「何かをしてあげる」という意識からいちど外れてみてはじめて見えてくることがあるということ、いちどきちんと見ておきたかった。

関心のことを英語で *interest* という。*interest* はラテン語の *inter-esse* からきている。「あいだにあるということ」というほどの意味である。存在の相互性が起こること、そのことぬきに、他者にかかわるという「ケア」のいとなみはありえない。意識のない患者のばあい、存在のその相互性―言葉のやりとり、関心のもちあい―は表立つては起こらないが、そのばあいでさえもなんらかの相互性というものが生まれているはずだ。

（鷺田清一「関心ということ」河合隼雄・鷺田清一著『臨床とことば 心理学と哲学のあわいに探る臨床の知』二〇〇三年所収より。  
なお、出題にあたり一部表記を変更した箇所がある。）

**設問** まず、遠藤さんの「学校」の例における「存在の相互性」とは何かを一〇〇字程度で要約しなさい。次に、学校教育における「存在の相互性」についてあなたの考えを七〇〇字程度で述べなさい。全体で八〇〇字以内（厳守）とします。

## 小論文試験問題採点基準

### 採点方法

複数の採点者が以下の採点基準に従い、各自90点満点で採点し、その平均点を受験者の得点とする。

### 採点基準

#### 1 読解力

遠藤さんの「学校」の例における「存在の相互性」について、本文で述べられていることが的確に要約されているか。

#### 2 説得力

自分の考えを論理的に主張しているか。

#### 3 表現力

誤字・脱字のない、適切な文章で表現しているか。

平成31年度上越教育大学一般入試（前期日程）

面接における質問事項等

個別質問

自分が教職に向いていると思う点を1つあげて、それについて話してください。

発表のテーマ

2018年の間に海外で起こった出来事のうち、あなたが子どもたちに伝えたいものを1つ挙げ、それを小学生にわかるように説明するとともに、なぜ、それを伝えたいと考えたのか、述べてください。

集団討論の目標

全員の発表の中から、子どもたちにどうしても伝えたい出来事を、全員で1点選び、より良い発表になるように内容や方法について討論してください。



平成31年度上越教育大学一般入試（前期日程）

実技検査（美術）試験内容及び採点の観点

○ 造形表現テスト

問題

配付されている描画対象物（タオルと小麦粉と泡立て器とライム）を下敷き用紙上に自由に配置し、解答用紙に鉛筆で描画しなさい。

- ① 解答用紙は、縦に使っても横に使ってもよい。
- ② 対象物は、すべてが少しでも見えるように、下敷き用紙上に配置すること。
- ③ 下敷き用紙は、折り曲げたり、切ったりしてはいけません。
- ④ 画鋸は、解答用紙を固定するのに用いること。
- ⑤ 配置した対象物は、試験終了後もそのままにしておくこと。

注意事項

1. 机の上には次のものが置いてあります。監督者の指示に従って確認し、不足のものや破損したものがあれば、手を高く挙げなさい。

[用紙]	解答用紙 1枚, 下敷き用紙 1枚
[描画対象物]	タオル 1枚, 小麦粉 1袋, 泡立て器 1個, ライム 1個
[用具]	2H, HB, 2B, 4B, 6Bの黒鉛筆 各1本, 消しゴム, 鉛筆削り, 画板, 画鋸 4個

2. 指示に従って、受験番号・氏名を解答用紙に記入しなさい。
3. 試験終了後、問題用紙は持ち帰りなさい。

採点の観点

以下の4項目の観点を中心に総合的に評価する。

- (1) 構成の工夫や広がりが見られるか。
- (2) 素材を生かした表現を行っているか。
- (3) 描画材である鉛筆による表現の幅が見られるか。
- (4) 表現しようとする思いや考えを伝えようと努力しているか。

平成31年度上越教育大学一般入試（前期日程）

実技検査（体育）試験内容及び採点の観点

○ 運動能力テスト

敏捷性，脚筋力，調整力及び柔軟性を含む総合的な運動の基礎的能力を次の3種目でみる。

- ①反復横とび ②立ち三段跳び※ ③長座体前屈

※ 両足を揃えた立位姿勢から，右足，左足（または左足，右足）と接地し，3歩目に両足で着地する跳躍運動。

**採点の観点**

運動の基礎的能力の観点から評価し，入学後の学習に必要な適性をみる。

平成31年度上越教育大学一般入試（後期日程）

面接における主な質問事項

- 教師という職業の魅力はどんなところにあると思いますか。
- 4年間の大学生活で特に力を入れて取り組んでいきたいことは何ですか。大学の外での活動も含めて構いません。
- 子どもに自信をつけさせる方法として、どのような取り組みが考えられるか、あなたの考えを述べてください。
- 仲の良い友人に対しても、時には厳しい指摘をしたり、反対意見を言ったりしなければならないときがあると思います。そんなとき、あなたはどんなことに気を付けていますか。これまでの経験をふまえて、話してください。

## 平成31年度上越教育大学推薦入試

### 面接における主な質問事項

- あなたが教員になりたいと思う理由について、理想の教師像を含めて話してください。
- あなたがこれまでに取り組んできた活動の中から、自分の成長に役立ったと思う活動について話してください。また、その活動の中で自分が果たした役割について話してください。学校外の活動でも構いません。
- 先輩や友人の言動の中で、これはぜひ自分でも取り入れたいと思ったことについて、どうしてそう思ったかも含めて、具体的に話してください。





# 2020

## 学生募集要項

令和元年11月発行

編集発行 ■ 上越教育大学入試課

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地

tel.025-521-3294

<https://www.juen.ac.jp/>